


CASBEE-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE建築(新築) ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(2-1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 小林機械 本社工場	階数	地上1F
建設地	埼玉県本庄市	構造	S造
用途地域	防火地域指定なし	平均居住人員	5人
地域区分	S地域	年間使用時間	2048 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月	評価の実施日	2018年3月23日
敷地面積	12,500 m ²	作成者	大協建設株式会社
建築面積	5,093 m ²	確認日	-
延床面積	5,093 m ²	確認者	-
		1-2 外観	

2-1 建築物の環境効率率(BEE)とQ&Cチャート

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(U-ターチャート)

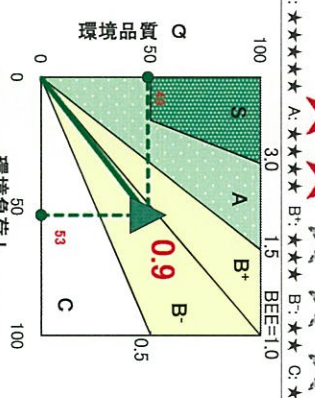
BEE = 0.9

S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C:★★

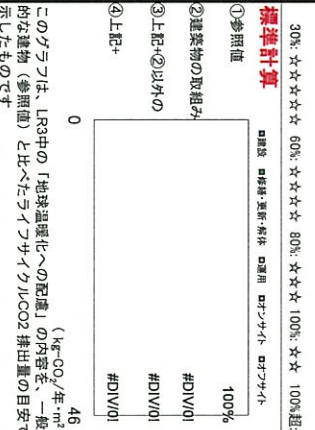
30%:★★★★★★ 60%:★★★★★★ 80%:★★★★★★ 100%:★★★★ 100%超:★★★★

標準計算

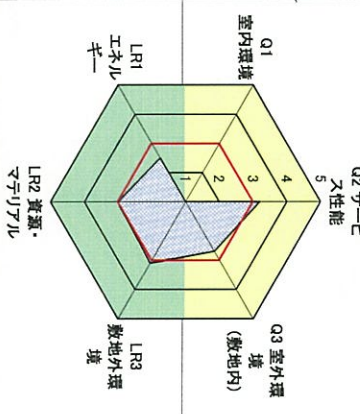
- ①参照値
- ②建築物の取組み
- ③上記+②以外の
- ④上記+



環境負荷L



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。



Q1 室内環境 (敷地内) 0.9

Q2 サービエ性能 3.2

Q3 室外環境 (敷地内) 2.7

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質		Q のスコア = 2.9	
Q1 室内環境		Q1のスコア = 0.0	
1	音環境	1	機能性
2	N.A.	2	耐用性
3	N.A.	3	対応性
4	N.A.	4	
5	N.A.	5	
LR 環境負荷低減性		LR のスコア = 2.8	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
1	音環境	1	水資源
2	温暖環境	2	非再生材料の
3	光・視環境	3	汚染物質
4	空気質環境	4	
5		5	
LR2 エネルギー		LR3 敷地外環境	
1	自然エネ	1	地球温暖化
2	設備システ	2	地域環境
3	効率的	3	周辺環境
4		4	
5		5	

3 設計上の配慮事項

3 設計上の配慮事項		その他	
Q1 室内環境	Q2 サービエ性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	断熱材を採用しないことにより、汚染物質含有材料の使用を回避している。	緑被率、水被率を大きくすることにより、遮熱環境の緩和に配慮している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	発泡断熱材を採用しないことにより、汚染物質含有材料の使用を回避している。	広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。また、燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
株式会社 小林機械 本庄工場 省エネルギー

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
■評価シート: CASBEE-BD_NC_2016(V2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境										-
1 音環境										-
1.1 室内騒音レベル										-
1.2 遮音										-
1 開口部遮音性能										-
2 界床遮音性能										-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										-
1.3 吸音										-
2 温熱環境										-
2.1 室温制御										-
1 室温										-
2 外皮性能										-
3 ソーシール制御性										-
2.2 湿度制御										-
2.3 空調方式										-
3 光・視環境										-
3.1 屋光利用										-
1 屋光率										-
2 方位別開口										-
3 屋光利用設備										-
3.2 グレア対策										-
1 屋光制御										-
3.3 照度										-
3.4 照明制御										-
4 空気質環境										-
4.1 発生源対策										-
1 化学汚染物質										-
4.2 換気										-
1 換気量										-
2 自然換気性能										-
3 取り入れ外気への配慮										-
4.3 運用管理										-
1 CO ₂ の監視										-
2 喫煙の制御										-
Q2 サービス性能							0.43			3.2
1 機能性										-
1.1 機能性・使いやすさ										-
1 広さ・収納性										-
2 高度情報通信設備対応										-
3 ハリアプラー計画										-
1.2 心理性・快適性										-
1 広さ感・景観										-
2 リノベーションスペース										-
3 内装計画										-
1.3 維持管理										-
1 維持管理に配慮した設計										-
2 維持管理用機能の確保										-
2 耐用性・信頼性										-
2.1 耐震・免震・制震・制振							0.50			3.2
1 耐震性(建物のこわれにくさ)							0.50			3.0
2 免震・制震・制振性能							0.80			3.0
2.2 部品・部材の耐用年数							0.20			3.0
1 躯体材料の耐用年数							0.30			3.9
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							0.20			3.0
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							0.20			5.0
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							0.10			4.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							0.10			3.0
6 主要設備機器の更新必要間隔							0.20			5.0
2.4 信頼性							0.20			3.0
1 空調・換気設備							0.33			3.0
2 給排水・衛生設備							-			-
3 電気設備							0.33			3.0
4 機械・配管支持方法							0.33			3.0
5 通信・情報設備							-			-

アクリル吹付付40年
床: 金剛仕上げ20年、壁: EP15年、天井: 仕上げなし
冷媒管: C

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.30	-	-	3.3
		2 空間の形状・自由度	[壁長さ比率]<0.1	5.0	0.40	-	-	3.0
	3.2 荷重のゆとり	1	2.0	0.30	-	-	-	2.7
		2	3.0	0.40	-	-	-	2.0
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	3.0	0.29	-	-	-	3.0
		2 給排水管の更新性	-	-	-	-	-	3.0
		3 電気配線の更新性	1.0	0.14	-	-	-	3.0
		4 通信配線の更新性	-	-	-	-	-	3.0
		5 設備機器の更新性	3.0	0.29	-	-	-	3.0
		6 ネットワークスペースの確保	4.0	0.29	-	-	-	3.0
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-	3.0	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-	3.0	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIml] = --		-	-	-	-	-
4 効率的運用				2.5	1.00	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	2.5
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	3.0
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-	2.0
集合住宅の評価					-	-	-	
4.1 モニタリング					-	-	-	
4.2 運用管理体制					-	-	-	
LR2 資源・エネルギー				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00	-	-	3.0
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	3.0
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	3.0
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	3.0
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	3.0
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	1.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別性に配慮		4.0	0.22	-	-	4.0
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	3.0
3.2 フロント・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	4.0
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材を採用していない(グラスウール)		5.0	0.50	-	-	5.0
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	3.0
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮				3.2	0.50	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を採用していない		5.0	0.25	-	-	5.0
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	3.0
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	2.0
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	3.0
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	3.0
3 交通負荷抑制				1.0	0.25	-	-	1.0
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	1.0
3 周辺環境への配慮				3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	3.0
1 騒音				3.0	1.00	-	-	3.0
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	3.0
2 砂塵の抑制					-	-	-	
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	3.0
3.3 光害の抑制				3.7	0.30	-	-	3.7
1 屋内照明及び屋内照明の立ち上げに連なる光への対策		光害チェックリストを一冊満たす、広告物照明がない		4.0	0.70	-	-	4.0
2 屋光の建物外壁による反射光(シリア)への対策				3.0	0.30	-	-	3.0

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェアバージョン











CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社 小林機械 本庄工場 倉庫増築工事	BEE	0.9	BEEランク	★★
------	-----------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
0.0	+	2.6	=	2.6
				

重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 0.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 0.0



(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

- Q3 室外環境(敷地内)
- Q3 室外環境(敷地内)
- LR3 敷地外環境

- 1. 生物環境の保全と創出
- 3. 2 敷地内温熱環境の向上
- 2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 2.0

スコア 3.0

スコア 3.0

緑被率、水被率を大きくすることにより、遮熱環境の緩和に配慮している。



:入力欄